

機能要件一覧

機能分類体系			仕様書・要件定義		必須 機能	回答欄	
大項目	中項目	小項目	要件	詳細要件・補足説明		(事業者名)	
						(サービス名)	
					対応可否	実装状況・対応状況を記載する欄	
■基本要件					対応可の項目に○を記入ください		
基本事項	サービス提供環境	機器環境	利用者の操作機器環境 (PC、スマートフォン) 及び管理者側 (管理システム・ドライバー) の操作機器環境として、指定する機器環境に対応すること。	利用者の機器環境 ・対応デバイス：スマートフォン ・対応OS、バージョン：Android11以降、iOS12.5.4以降 ・対応ブラウザとそのバージョン：Chrome55.0.283以降、Safari10以降 管理者側の利用環境 ・対応デバイス：PC ・対応OS、バージョン：Windows11 21H2以降 ・対応ブラウザ、バージョン：Microsoft Edge 94以降 ・対応デバイス：シンクライアント端末 ・対応OS/バージョン：Windows Server 2025 DataCenter ・対応ブラウザ、バージョン：Microsoft Edge 94以降	○		
		ネットワーク環境	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	利用者側環境：インターネットで接続できること。 管理者側環境：LG-WAN系もしくはインターネット系（自治体が指定するネットワーク）で動作すること。 インターネット上の通信経路においては暗号化を行うこと。	○		
		データ管理	データ管理環境について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	・アプリサービスの場合、デバイス内には情報は保存せず、ISMAR (政府情報システムのためのセキュリティ評価制度) サービスリストまたはデータセンターの要件を満たすクラウド型の電子申請サービスを導入すること。 ・情報資産は発注者が指示しない限り日本国内に保管されること。	○		
			データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	・バックアップ環境：指定した場合は除き全て日本国内であること。 ・サイクル (間隔)：日次 ・保有期間：2週間分	○		
			サービス利用者の端末故障時や機種変更時のデータ引継ぎが配慮されていること。	—	○		
		サービス提供時間	メンテナンス時間を除き24時間利用可能であること。	—	○		
	ライセンス数	利用者側ライセンス	利用者側アカウントライセンスが必要となる場合は、利用者の同時接続数に制限がないこと。	—	○		
		管理者側ライセンス	管理者側アカウントライセンスが必要となる場合は、管理者の同時接続数に制限がないこと。	—	○		
	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすく、操作性が高く、効率的な運用が可能であること。	利用者がアプリのコンテンツ内容を視覚的に理解でき、操作しやすい画面デザインを実現すること。	○		
		アクセシビリティ	アクセシビリティに配慮したデザインであること。	「JIS X8341-3:2016」が規定する「レベルAA」に準拠するなどアクセシビリティに配慮したデザインであること。	○		
		視覚障害者支援	視覚障害を持つユーザーの操作を補助するように配慮することが望ましい。	—	○		
		多言語対応	次の言語に対応すること。 ・英語 ・中国語 (簡体字/繁体字) ・韓国語 ・スペイン語 ・インドネシア語	左記以外も可能な限り多言語に対応することとし、企画提案書に対応予定言語を記載すること。	○		
	情報セキュリティ	認証資格	情報セキュリティに関する指定する認証制度・評価制度に対応すること。	次の認証制度・評価制度に対応すること。 ・ISMS ・プライバシーマーク	○		
		データセンター	・データセンターは Tier3 または 4 相当であり、建築基準法 (昭和 25 年法律第 201 号) の新耐震基準に適合していること。 ・データセンターの物理的所在地が日本国内とし、情報資産について、合意を得ない限り日本国外への持ち出しを行わないこと。	—	○		
		個人情報・情報セキュリティ	個人情報・情報セキュリティに関する法令および条例等を遵守すること。	遵守する法令および条例等は次のとおりとする。 ・個人情報保護法 ・千歳市情報セキュリティポリシー	○		
システムログ		エラー情報の把握やUI/UXの改善に必要なログ情報を取得すること。	—	○			
アクセス・操作ログ		管理システムのアクセスログ・操作ログを取得すること。	—	○			
不正プログラム対策		システム (サービス) の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないよう対策を講じるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。	—	○			
		システム (サービス) の稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準備すること。	—	○			
その他セキュリティ対策		個人情報の保護に配慮するなど、利用者が安心して利用できる対策を実施していること。	—	○			
サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報 (発注者が提供を希望する情報) については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	—	○			
	保有データの消去等	サービスを終了もしくはサービス利用契約終了後は、発注者が提供を希望する保有データの提供のち、速やかにシステムから消去すること。消去においては、復元不可能な状態にすること。	データ消去後に、当該データを保持していた記憶装置の物理的破壊を行うとともに、そのエビデンスを提出すること。	○			
	オプトアウト対応	利用者からの申し出により、当該利用者に関する情報を全部または一部削除できること。	—	○			
利用規約等	利用規約への同意	サービスの初回利用時やサービスに重要な変更を行った際には、利用者に利用規約の内容を提示し、確認 (同意) をとることができること。	—	○			
	プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示すること。	—	○			
問合せ機能	—	サービス内の問い合わせフォームなどから、問い合わせを行うことができること。	—	○			
統計機能	—	サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で集計し、確認できること。	集計するデータは次のとおりとする。 アプリ利用登録者数、アプリアクティブ利用者数、機能ごとの利用数など	○			
関係法規制への対応	—	サービスの稼働、運用・提供に関係する関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。	—	○			
資格管理	利用者側アカウント管理	管理情報	利用者情報を登録・管理できること。	管理者情報として登録する情報は次を基本とする。 氏名、職員番号、所属、メールアドレスなど	○		

記入用凡例
○：対応可
×：対応不可
△：その他(備考欄に詳細を記入ください)

			自身の情報以外に子ども等の情報を追加できること。	—	○			
		アカウント設定・登録	利用アカウントの設定・登録ができること。	—	○			
		アカウント認証方法	利用アカウントは指定する認証方法（再認証も含む）に対応すること。	ID・パスワードでログインできること。	○			
			利用登録せずに利用できる機能があること。	—	○			
			マイナンバーカードの公的個人認証サービスを用いたログインに対応すること。	—	○			
		アカウント情報の修正・停止（廃止）	利用者自身がアプリ上でアカウント情報の修正・停止（廃止）を行えること。	—	○			
			管理者が利用者のアカウント情報を確認・停止（廃止）、削除ができること。	—	○			
	管理側アカウント管理	管理情報	管理者情報を登録・管理できること。	管理者情報として登録する情報は基本とする。氏名、職員番号、所属、メールアドレスなど	○			
		アカウント登録・設定	管理者側利用アカウントは、指定する方法等により登録・設定できること。	・管理者アカウントIDとしてメールアドレスを利用して登録できること。 ・システム管理者が、管理者側アカウントを発行することができること。 ・システム管理者等の依頼による委託者等の作業も含む ・登録できるアカウント数には上限を設けることができること。	○			
		アカウント認証方法	管理者側利用アカウントは、指定する認証方法（再認証も含む）に対応すること。	ID・パスワードの認証でログインできること。	○			
		アクセス制御	所属や個人ごとなどで管理アカウントの権限を設定できること。	—	○			
■機能要件								
全般	—	アプリ配信	千歳市のポータルアプリであることが分かるように、独自のアイコン、アプリ名等をアプリの中で明示できること。	—	○			
			AppStore、GooglePlayに独自のアイコンとアプリ名で登録できること。	—	○			
		利用促進につながる機能	利用者が日々楽しみながらサービスを利用できる工夫がされていること。	—	○			
		全体画面デザイン	スマートフォンやタブレットなど異なる画面サイズでも最適に表示できるレスポンシブデザインを採用すること。	—	○			
		UI/UXの改善等	1年に1回程度、利用者の操作性・利便性を高めるアップデートを実施すること。	—	○			
		操作方法・FAQ	サービス内容やアプリの操作に関して、わかりやすくFAQ等でヘルプ表示されるなど、アプリを簡単に利用してもらうための工夫がされていること。	—	○			
		WEBビュー	スマートフォン、タブレットにアプリをインストールしない場合にも一部の機能はWEBブラウザ上で確認できること。	—	○			
利用者機能要件 (利用者向け)	基本機能	全般	他の住民サービスのサイト・アプリへのリンクを設定できること。	—	○			
	コンテンツ機能	広報紙閲覧	自治体が発行する広報紙の電子版（PDF形式等）を閲覧できること。	—	○			
		ごみカレンダー	ごみ収集日をデータベース化し、設定された居住地区に従い、該当の収集日をカレンダー表示できること。	—	○			
			カレンダー上にはごみの種別がわかるアイコンが表示されること。（カレンダー表示を行いたい場合に指定）	—	○			
			居住地区外も含めた自治体内のごみ収集日カレンダーを閲覧できること。	—	○			
			ごみ収集日の前日、利用者情報に設定された居住地区に従い、アプリ利用者にプッシュ配信で通知できること。	—	○			
			各ごみ種別に応じたごみの出し方や、ごみの例を表示できること。	—	○			
			ごみの名称（乾電池、ライターなど）一覧表示できること。また、利用者がごみ種別を容易に検索できる機能を有すること。	—	○			
		イベントカレンダー	イベントをカテゴリ分類し、利用者が興味のあるカテゴリを選択することで、イベントの絞り込みができること。	—	○			

